

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月1日

上場会社名 セキ株式会社
 コード番号 7857 URL <http://www.seki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 関 宏孝
 (氏名) 松友孝之
 TEL 089-945-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,773	4.2	45		11	88.8	4	
30年3月期第1四半期	2,661	0.8	30		107		61	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 39百万円 (%) 30年3月期第1四半期 174百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	1.19	
30年3月期第1四半期	14.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	17,652	13,699	75.6	3,202.10
30年3月期	17,825	13,794	75.3	3,222.90

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 13,338百万円 30年3月期 13,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		12.00		12.00	24.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,620	4.3	90		3	98.2	5	95.0	1.20
通期	12,400	5.6	170	34.6	330	27.4	220	22.6	52.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	4,508,000 株	30年3月期	4,508,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	342,556 株	30年3月期	342,556 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	4,165,444 株	30年3月期1Q	4,165,444 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

この度の大阪府北部を中心に発生した地震ならびに西日本を中心とした豪雨災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、個人消費が緩やかな回復基調が継続する中、海外の政治動向や経済摩擦等による世界経済の不確実性のもとで、先行き不透明な状況で推移しました。また、大阪北部を震源とする地震の発生や、数十年に一度と言われる西日本を中心とした豪雨災害という大きな自然災害が発生、今後の企業業績に影響を与えかねない状況にあります。

当社グループの属する業界におきましても、企業の広告宣伝費抑制の動きが継続する中、企業間競争の更なる激化に伴う受注単価の下落など、厳しい経営環境が継続しております。

こうした情勢のもと、当社グループでは印刷需要の集中する首都圏・関西圏における印刷関連事業の営業活動強化を継続するとともに、四国圏内でも既存取引先に対する印刷需要の掘り起こしを図るなど業績確保に努めた結果、売上高は27億7千3百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。利益面では、昨年10月に稼働となりましたSEKI BLUE FACTORY（愛媛県伊予市）での水性フレキソ印刷加工事業にかかる初期投資費用発生などにより、4千5百万円の営業損失を計上（前年同四半期は3千万円の営業利益を計上）、経常利益は1千1百万円を計上（前年同四半期比88.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4百万円を計上（前年同四半期は6千1百万円の利益を計上）となりました。

また、本年6月、伊予工場（愛媛県伊予市）において機械設備の集約による生産効率の向上と、多様化する顧客ニーズに対応するため、効率性に優れた低エネルギータイプUV仕様印刷機 ハイデルバルグ社製 XL75-8P アニカラーを新規導入いたしました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

①印刷関連事業

企業の広告宣伝費の抑制傾向が継続、印刷需要が低迷する中、顧客ニーズに沿った企画提案営業の強化に努めた結果、売上高は20億2千7百万円（前年同四半期比7.7%増）となりましたが、水性フレキソ印刷加工事業にかかる費用の発生などにより、1千9百万円の営業損失（前年同四半期は4千2百万円の営業利益）を計上しました。

②洋紙・板紙販売関連事業

印刷需要の低迷に伴う市況の悪化や競争激化の影響などにより、売上高は1億1千6百万円（前年同四半期比12.9%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期比52.3%減）となりました。

③出版・広告代理関連事業

既存メディアでの受注競争が激化する厳しい事業環境下、「LUNCH PASSPORT」アプリ版や紙媒体のタウン情報誌を補完する地域情報アプリ「えひめのアプリ」の拡販など業績確保に努めましたが、売上高は2億3千4百万円（前年同四半期比8.6%減）、3千5百万円の営業損失（前年同四半期は2千3百万円の営業損失）を計上しました。

④美術館関連事業

セキ美術館では季節ごとに展示を入れ替えた所蔵品展を開催しております。売上高は74万円（前年同四半期比16.2%増）、6百万円の営業損失（前年同四半期は7百万円の営業損失）を計上しました。

⑤カタログ販売関連事業

オフィス関連用品通信販売業者に対する新規商品採用への積極的なアプローチやエージェントとして新規顧客開拓に努めた結果、売上高は3億9千4百万円（前年同四半期比1.6%増）となりましたが、商品売上構成比の変動で原価率が上昇した影響などにより、営業利益は1千3百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千5百万円減少し、176億5千2百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が21億3千9百万円と前連結会計年度末に比べ3億2千8百万円減少、その他流動資産（未収消費税等）が全額還付されたことにより前連結会計年度末に比べ1億7千8百万円減少、現金及び預金が52億9千3百万円と前連結会計年度末に比べ2億3千9百万円増加、投資有価証券が27億9千7百万円と前連結会計年度末に比べ1億1千万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、39億5千2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が12億6千万円と前連結会計年度末に比べ1億3千5百万円減少、賞与引当金が1億8千5百万円と前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加、その他流動負債（未払消費税等）が5千5百万円と前連結会計年度末に比べ3千7百万円増加、長期借入金が11億9百万円と前連結会計年度末に比べ3千2百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9千4百万円減少し、136億9千9百万円となりました。これは主に、利益剰余金が110億7千5百万円と前連結会計年度末に比べ5千4百万円減少、その他有価証券評価差額金が2億5千5百万円と前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月10日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054,263	5,293,634
受取手形及び売掛金	2,468,043	2,139,725
商品及び製品	102,925	119,398
仕掛品	263,605	267,245
原材料及び貯蔵品	107,697	112,308
未収還付法人税等	81,760	73,053
その他	225,220	40,389
貸倒引当金	△72,516	△55,212
流動資産合計	8,230,999	7,990,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,963,250	3,984,469
減価償却累計額	△1,900,285	△1,929,013
建物及び構築物(純額)	2,062,965	2,055,456
機械装置及び運搬具	4,957,974	4,877,255
減価償却累計額	△3,350,854	△3,350,453
機械装置及び運搬具(純額)	1,607,119	1,526,802
工具、器具及び備品	1,757,219	1,769,596
減価償却累計額	△381,527	△389,184
工具、器具及び備品(純額)	1,375,691	1,380,411
リース資産	14,133	14,133
減価償却累計額	△6,477	△7,066
リース資産(純額)	7,655	7,066
土地	1,229,979	1,229,979
建設仮勘定	110,829	219,261
有形固定資産合計	6,394,240	6,418,977
無形固定資産		
ソフトウェア	21,092	40,454
その他	19,570	11,740
無形固定資産合計	40,663	52,194
投資その他の資産		
投資有価証券	2,686,691	2,797,565
長期貸付金	16,488	14,835
繰延税金資産	15,632	21,155
その他	357,482	366,725
貸倒引当金	△5,011	△9,992
投資その他の資産合計	3,071,282	3,190,288
固定資産合計	9,506,185	9,661,461
資産合計	17,737,185	17,652,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,395,658	1,260,125
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	126,988	117,997
未払法人税等	12,006	33,666
賞与引当金	127,489	185,198
その他	514,181	575,762
流動負債合計	2,226,322	2,222,749
固定負債		
長期借入金	1,076,614	1,109,003
繰延税金負債	103,191	87,055
退職給付に係る負債	376,798	375,073
資産除去債務	3,922	3,933
役員退職慰労引当金	2,334	2,576
未払役員退職慰労金	130,177	129,577
その他	23,307	22,221
固定負債合計	1,716,346	1,729,440
負債合計	3,942,668	3,952,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	11,130,472	11,075,546
自己株式	△503,459	△503,459
株主資本合計	13,162,213	13,107,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288,923	255,844
退職給付に係る調整累計額	△26,333	△24,977
その他の包括利益累計額合計	262,589	230,866
非支配株主持分	369,713	361,660
純資産合計	13,794,516	13,699,813
負債純資産合計	17,737,185	17,652,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,661,570	2,773,513
売上原価	1,986,444	2,099,583
売上総利益	675,125	673,929
販売費及び一般管理費		
配送費	90,108	100,595
給料及び手当	225,340	219,577
賞与引当金繰入額	25,938	29,704
退職給付費用	8,829	9,337
役員退職慰労引当金繰入額	-	241
その他	294,216	360,198
販売費及び一般管理費合計	644,434	719,654
営業利益又は営業損失(△)	30,691	△45,724
営業外収益		
受取利息	11,750	8,896
受取配当金	13,107	14,244
物品売却益	7,761	7,140
貸倒引当金戻入額	27,968	12,173
役員退職慰労引当金戻入額	102	-
仕入割引	2,358	2,238
その他	19,434	17,529
営業外収益合計	82,484	62,221
営業外費用		
支払利息	2,784	2,587
売上割引	373	351
賃貸収入原価	945	1,117
その他	1,986	490
営業外費用合計	6,089	4,546
経常利益	107,085	11,949
特別利益		
固定資産売却益	-	5,599
投資有価証券売却益	47	45
特別利益合計	47	5,645
特別損失		
固定資産売却損	848	-
固定資産除却損	13	-
特別損失合計	861	-
税金等調整前四半期純利益	106,271	17,595
法人税、住民税及び事業税	13,843	33,162
法人税等調整額	31,074	△7,479
法人税等合計	44,917	25,682
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,354	△8,087
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△190	△3,146
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	61,544	△4,941

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,354	△8,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,885	△32,442
退職給付に係る調整額	1,543	1,366
その他の包括利益合計	113,428	△31,076
四半期包括利益	174,782	△39,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,391	△36,664
非支配株主に係る四半期包括利益	391	△2,499

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月8日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	平成29年3月31日	平成29年6月9日	利益剰余金

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月14日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	平成30年3月31日	平成30年6月15日	利益剰余金

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,882,249	133,897	256,782	640	388,001	2,661,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,349	297,321	7,893	—	—	370,564
計	1,947,599	431,218	264,675	640	388,001	3,032,135
セグメント利益又は損失(△)	42,784	4,604	△23,432	△7,045	13,814	30,725

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	30,725
セグメント間取引消去	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	30,691

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,027,095	116,639	234,750	744	394,282	2,773,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,053	263,316	11,815	—	33	333,218
計	2,085,149	379,955	246,566	744	394,315	3,106,731
セグメント利益又は損失(△)	△19,183	2,194	△35,634	△6,833	13,754	△45,702

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△45,702
セグメント間取引消去	△22
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△45,724